



ホテル日航ハウステンボスのフロントでH.T.Bの施設を案内する志水美穂さん
11月19日、長崎県佐世保市

近隣ホテル“共栄”へ一歩

大型リゾート施設ハウステンボス(H.T.B、長崎県佐世保市)と運命共同体だった周辺の3ホテルで、地元からの集客力を高めようという動きが始まっている。計800室を越す客室の宿泊客の大半はH.T.B目当てだが、今回の経営危機で自立の必要性も痛感。自らの吸引力も強めることがH.T.Bとの真の共存共栄につながると思われている。

独自の集客策を模索

「ホテル日航ハウステンボス」のフロント係主任志水美穂さん(36)は、

**再生
この手で
ハウステンボス**

「ホテル日航ハウステンボス」のフロント係主任志水美穂さん(36)は、「新しい魅力を伝えたい」と声を弾ませる。

「ハウステンボスシェイアール全日空ホテル」や温泉施設を強化。運営する庄屋フードシステム(佐世保市)の中村信機社長は「H.T.Bの比重を減らし、地域密着で生き残りたい」と強調した。

「ホテル日航ハウステンボス」のフロント係主任志水美穂さん(36)は、「新しい魅力を伝えたい」と声を弾ませる。ハウステンボスシェイアール全日空ホテル」や温泉施設を強化。運営する庄屋フードシステム(佐世保市)の中村信機社長は「H.T.Bの比重を減らし、地域密着で生き残りたい」と強調した。

「ホテル日航ハウステンボス」のフロント係主任志水美穂さん(36)は、「新しい魅力を伝えたい」と声を弾ませる。ハウステンボスシェイアール全日空ホテル」や温泉施設を強化。運営する庄屋フードシステム(佐世保市)の中村信機社長は「H.T.Bの比重を減らし、地域密着で生き残りたい」と強調した。

「ホテル日航ハウステンボス」のフロント係主任志水美穂さん(36)は、「新しい魅力を伝えたい」と声を弾ませる。ハウステンボスシェイアール全日空ホテル」や温泉施設を強化。運営する庄屋フードシステム(佐世保市)の中村信機社長は「H.T.Bの比重を減らし、地域密着で生き残りたい」と強調した。